

あいとさつ

登場人物

男の子

女の子

男の子 衣類が山積みになって小高い丘のようになったてっぺんに手足を投げ出して横たわっている

女の子 「ごめんください」

男の子 答えない

女の子 「こんにちは」

男の子 「なにしにきたの」

女の子 「ひどい。せっかく近くまで来たから挨拶して行こうと思ったのに」

男の子 「挨拶？」

男の子 「挨拶ねえ」

女の子 「なんですか？」

男の子 「挨拶という言葉がもともとどういう意味を持っていたのか知ってる？」

女の子 「……なんですか？」

男の子 「「挨」という漢字には「打つ」とか「押す」とかいった意味があって、「拶」には「近づく」とか「迫る」って意味がある。つまり「挨拶」とは本来、「押し開いて進む」とか「そばに近づいて押し合う」という意味の熟語だ。禅宗では「一挨一拶」といって、問答を繰り返すことで仏法修行の進み具合を調べていたんだ。それが挨拶のもともとの使われ方。つまり、挨拶ってのは、「探りを入れる」って意味なのさ。あんたはここへ、何を探りに来たのかな？」

女の子 「こそばゆいですね」

男の子 「なんだって？」

女の子 「探りたいから挨拶するとか、挨拶しないと探られてないから悲しいとか、……人の世って、なんかこそばゆいですね」

男の子 「僕はべつに、挨拶されて喜んでるわけじゃないんだけど。むしろ逆だって言ったつもりだけど」

女の子 「私は挨拶をしたら、挨拶が返ってこないと嫌です」

男の子 「……こんにちは」

女の子 「ありがとう」

女の子 周囲を見回す。

男の子 「今日は朝から肌寒いですね」

女の子 「そうですね。すっかり日も短くなりました」

女の子 床に落ちているものを拾い上げたり、棚の抽斗を開けたり閉めたり、棚の上に置かれているものをジャンプして取ったりする。

男の子 「なに踊ってるの？」

女の子 ものに埋もれた座布団をひっくり返して下を検（あらた）める。立ち上がってあたりを見回す

女の子 男の子の寝ている山に近づく

女の子 「これはぜんぶ服ですか？ 洗ってあるの？ ないの？」

男の子 「忘れた」

女の子 「なんでこんなに部屋中ぐちゃぐちゃのままなの？」

男の子 「家が古いから、すごく揺れて、みんなぐちゃぐちゃになっちゃったんだ」

女の子 「何年前の話ですか？」

女の子 「……私が貸した漫画、どこですか？」

男の子 がぼっと起き上がる

男の子 「ほらな！ やっぱり探りを入れに来たんだ」

女の子 「どこですかー」

探しているのか踊っているのかわからない